

龍ヶ崎地方衛生組合
視察研修報告

視察日

平成24年10月11日～12日

視察先

福岡県糟屋郡志免町 宇美町・志免町衛生施設組合 宇美志免浄化センター

視察目的

し尿等の処理管理における衛生事務の状況を研修することにより、広域衛生及び行財政の進展並びに運営の参考とする。

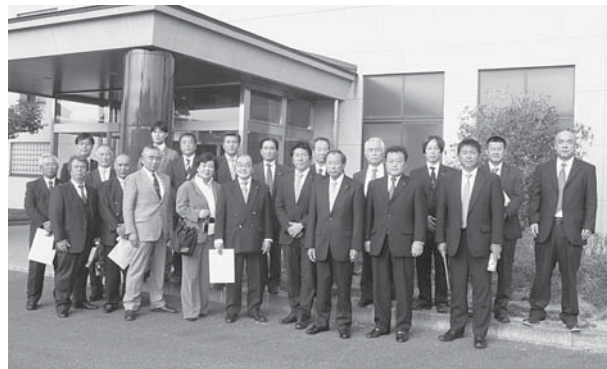
参加者

小泉輝忠 羽成邦夫

視察内容

宇美町・志免町衛生施設組合は、宇美町及び志免町の2町で構成されています。両町は、福岡市に隣接し、交通条件にも恵まれていることから、福岡都市圏のベッドタウンとして発展を続けている町です。この宇

美町・志免町衛生施設組合で運営する「宇美志免浄化センター」を視察しました。



宇美志免浄化センターにて

宇美志免浄化センターを運営する宇美町・志免町衛生施設組合は、両町で総人口8万3309人（平成24年3月31日現在）で、龍ヶ崎地方衛生組合8市町村の総人口と比べると、約5分の1の総人口になります。これまで両町では、し尿の全量を福岡市の海洋投棄に委託していました。しかし、同市の海洋投棄廃止に

伴い、し尿処理施設の建設が急務となりました。そこで両町では、平成10年4月、宇美町・志免町衛生施設組合を設立し、平成11年8月から施設の建設を始め、平成13年3月に竣工となりました。

この施設の特徴は、外観が周辺環境に調和し、臭気対策も万全であるという点です。住民の清潔で快適な生活環境をつくることを目的とし、公害防止に万全を期するとともに、外観上も周囲の景観を配慮した近代的な施設として、両町の環境浄化に大いに貢献しているそうです。

そして、宇美志免浄化センターで使用しているバキュームカーは、全面をカバーしてあり、一見保冷車にしか見えない車両でした。また、搬入経路も指定された指定以外の道路からは搬入できないよう徹底されています。施設だけではなく、施設外でも景観にとっても配

慮しており、我が龍ヶ崎地方衛生組合も、宇美志免浄化センターを見習わなければいけないと感じました。ただし、宇美志免浄化センターの運営は、平成28年3月までとなっており、現在は下水道の整備を進めている段階だそうです。これからは、下水道の完備、そして、下水道へ加入をしてもらうことが、住民の清潔で快適な環境が整うことだとこの視察で痛感しました。



現場の声に耳を傾ける